

10周年の節目を祝う

今後も健康で交流を

東地区ふれあいの家



市からの表彰状を受ける井尾代表（左）



10周年を祝ってケーナ演奏を楽しんだ

東地区ふれあいの家（井尾百合子代表）が開設して以来、今年で10周年の節目を迎えた。活動拠点の東地区住民センター（南6東4）で11日、お祝いが開

かれた。ふれあいの家を利用する高齢者やボランティアスタッフ、米實など約60人が参加した。井尾代表は「ふれあいの家を通じて、ひとり

の交流や思い出をみなさんの人生のページに加えていただければ幸いです」とあいさつ。長年にわたってボランティア活動を続け、井

尾代表に表彰状を手渡した。引き続き、音楽活動している市内の笠谷俊一さん（網走工業社長）がオリジナルや歌謡曲などを演奏し、ケーナ独特の音色で参加者を

楽しませ、お祝いに花を添えた。東地区ふれあいの家は、市内6番目のふれあいの家として2003年11月に開設。現在は約30人の利用者とボランティアスタッフ約15人が毎週月曜日に集まり、運動やゲーム、年2回のバス旅行など、みんなで楽しみながら交流を深めている。

（小野）